



大島事業所トピック

No. 406

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

令和4年1月6日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 17

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp>



令和4年1～6月の伊豆諸島周辺海域の海況見通し

黒潮は大蛇行が継続し、A型基調で推移する

令和3年12月に長期漁海況予報会議が開催され、水産研究・教育機構より、令和4年1～6月の海況予報が発表されましたので、お知らせします。

海況の現況と経過

【現況】

黒潮は紀伊半島沖で大きく離岸し、大王崎沖を北上した後、遠州灘沖を東流して御蔵島南沖を通過し房総沖に流去しています（図1）。

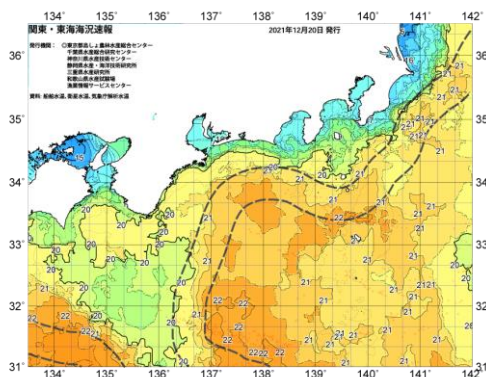


図1 関東・東海海況速報（令和3年12月20日）

【経過】

黒潮は8～12月まで伊豆諸島の西側を北上する流路で推移しました。

【定地水温】

今年は非常に高水温だった昨冬よりも早く水温が低下しています。大島、新島、神津島の定地水温は11月下旬から昨年比で2～3℃程度水温が低下しています。黒潮が昨年よりもやや南方を通過し、北部への暖水波及が弱まっているため、大島、新島では12月20日には17℃台まで低下し、平年値に近い水温になっています（表）。

表 12月上旬の定地水温

	2021年	2020年	平年値
大島	18.6℃	21.1℃	19.0℃
新島	19.1℃	22.1℃	19.2℃
神津島	20.8℃	22.5℃	19.4℃

海況予測（令和4年1月～6月）

令和4年1～6月は黒潮が大蛇行が継続し、A型流路（図2）で推移します。伊豆諸島海域では伊豆諸島の概ね西側を北上します。

伊豆諸島北部海域の海況見通し

伊豆諸島北部海域の沿岸水温は、黒潮が概ね伊豆諸島の西側を北上することから、暖水に覆われ、高め傾向となることが推測されます。一方で、現在のように北上部が熊野灘まで西偏すると、黒潮が伊豆諸島のやや南方を通過し、水温が低くなります。そうしたことから「平年並」～「高め」(*)の予想としています。

※「平年並」＝平年値±0.5℃程度、「高め」＝平年値+1.5～2.5℃、「極めて高め」＝平年値+2.5℃以上

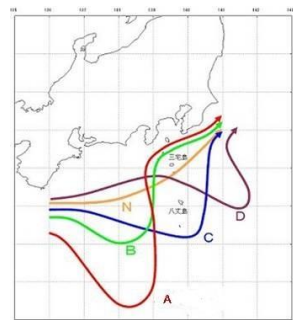


図2 黒潮流路の代表的なパターン

A型：32°N以南まで蛇行（海上保安庁HPより）
島しょ農林水産総合センターでは、日々の海況図をホームページ(<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/weather/index.html>)で公開しております。ぜひご利用下さい。